

知的障害がある生徒と学校関係者のための 障害者インクルーシブ災害リスク削減 (DiDRR) に関するトレーニング

Thailand / タイ

氏名 Ratjai Adjayutpokin ラットジャイ (13期)

所属団体 ネオ・ヒューマニスト財団



タイ北部のチェンライ県では、さまざまな災害が発生しているにもかかわらず、災害への備えは十分でなく、障害がある人のリスク軽減に向けた対応はさらに遅れています。特別支援学校に通う生徒を対象に、災害時のリスク軽減に関するトレーニングを行いました。

所属組織の概要

教育機関と協力し、少数民族および無国籍の生徒により良い教育機会を提供するために、教育プロジェクトの支援を行っています。2022年には、学校における災害リスク軽減に関するプロジェクトに取り組み、特別支援学校においても、災害発生時に受傷・死亡等のリスクが高いとされている障害者に対して、災害リスク軽減の取組を試験的に実施しました。

事業の目的

知的障害がある生徒と学校関係者の災害リスク軽減に関する理解とスキルを深め、災害発生時に命と安全を守る行動がとれることを目的に活動しています。また、水害が発生した際に水中で適切な行動がとれるよう、サバイバル・スイミングに関する理解とスキルの向上にも取り組んでいます。



消防訓練では、実際に消火器の使い方を学びました



地震防災訓練で、震災発生時に自分の身を守る行動を学びました

活動地域

タイ北部のチェンライ県にあるチェンライ・パニャヌクル学校で実施しました。チェンライでは、洪水、地滑り、地震、森林火災など、さまざまな災害が発生しています。チェンライの人びとは複数のリスクに直面しているにもかかわらず、災害への備えは進んでいない現状があります。障害がある人への支援や対応はさらに遅れています。

対象者

チェンライ・パニャヌクル学校の生徒、関係者です。知的障害のある生徒が408名、学校関係者が80名います。



事業の成果

- ・ 災害が発生した時、学校関係者および生徒が死亡・受傷するリスクを軽減する能力が向上しました。あらゆる災害を想定し、いかにシステムティックに動いて命を救うかを学び、訓練の準備をしました。
- ・ 研修に参加した教師たちから生徒たちに向けて、サバイバル・スイミングの訓練を実施しました。100名の生徒たちが訓練を終え、教師、生徒ともにサバイバル・スキルが高まりました。
- ・ 今回、試験的に実施した本事業は、他の地域の学校でも応用できると分かりました。障害がある生徒が災害時に命と安全を守れるように、そしてその親たちも一緒に動くことができるように、2024年にはこのプロジェクトを拡大していく計画を立てています。



知的障害児および自閉症児との訓練を実施しました

左：口から水を吹き出す訓練

右：大の字になって上向きで浮く訓練



実施内容

障害者インクルーシブ災害リスク軽減（DiDRR）は、本財団の「『チェンライにおける災害リスクの軽減』プロジェクト」のひとつです。本プロジェクトは、チェンライ県にある普通学校 8 校と特別支援学校 2 校で行いました。チェンライ・パニャヌクル学校はこれに参加した学校のひとつで、知的障害がある生徒たちへの教育を提供しています。

全社協からの助成金は、この学校での学校関係者のための DiDRR およびサバイバル・スイミングの訓練活動に充てています。詳細は以下の通りです。

2023年7月21日

80名の教師および408名の知的障害がある生徒を対象に、溺死防止、応急処置と CPR 心肺蘇生法、地震や火災発生時の、消防訓練に関する DiDRR ワークショップを開催しました。これは学校関係者、教師および生徒たちが、起こり得るあらゆる災害を想定し、対応できることが開催の目的です。自分たちの学校の災害マネジメント計画を見直し、災害時のリスク軽減に関する訓練を練り上げる機会を与えました。



応急処置の訓練で、命を守る行動を学びました

2023年5～7月

知的障害がある生徒のためのサバイバル・スイミング訓練を、生徒 100 名に対し 10 回実施しました。

2023年3月には、その訓練に向けて、30名の教師および世話人を対象に、サバイバル・スイミングに関する3日間のトレーナー研修を行いました。内容は、子どもたちの能力評価の方法、楽しい教授法、視覚的な方法を活用した指導方法、指導の流れ等です。

さらに、この研修に参加したチェンライ・パニャヌクル学校の教師たちがフィードバックを行い、ワークショップを実施しました。

3月に実施した教師向けの研修とワークショップを経て、実際に水中で生徒たちと実技を行うことができました。障害がある生徒たちの能力を正しく評価し、水中でも安全を確保する行動がとれると、災害発生時の傷害リスクを減らすことができます。



水への恐怖をなくすため、『Wheel on the bus (バスの車輪)』の歌を歌いながら楽しくリラックス

今後の展望

災害が発生した時、障害がある子どもたちのことはしばしば見落とされがちで、重要な事柄ではあるのに、現在、教師や親、子ども自身がそれを学ぶ機会がありません。その理由としては以下のことが考えられます。

- ・ 障害がある子どもを支援するための社会資源が十分でない。
- ・ 教師と両親に、障害がある子どもにサバイバル・スイミングを教える知識がない。
- ・ 教師と両親が、障害がある子どもたちの能力を過小評価している。そのため、この重要なスキルを教えようとしません。結果として、こうした子どもたちは学ぶ機会を失い、自分自身の命を救う機会を失っている。

私たちは、災害時、障害がある子どもたちがひとりも取り残されないようにという想いで、将来に向けてこのプロジェクトを継続していきたいです。

収支報告

〈収入〉

項目	金額 (円)	内 訳
全社協からの助成金	329,058	
自己資金	1,118	
合 計	330,176	

〈支出〉

項目	金額 (円)	内 訳
災害時のリスク軽減のための訓練実施	131,524	トレーナー弁当代 37,710 円 生徒のおやつ代 63,227 円 機材・車両ガソリン代 30,587 円
知的障害がある生徒のためのサバイバル・スイミング訓練実施	188,780	交通費 (生徒 100 人分) 41,900 円 プール利用代 20,112 円 トレーナー手当 93,248 円 生徒のおやつ代 33,520 円
運営費	9,872	
合 計	330,176	

注) タイバーツ (THB) で提出された報告書をもとに日本円に換算して表記
換算レート: 1 タイバーツ = 4.11 円 (送金時 (2023 年 5 月 19 日) の為替レート)